



2016・11・1

第254号

101-0065 東京都千代田区

西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 「殺し殺される危険」！ 南スーダン派兵反対

### 戦争法発動阻止へ！力あわせ

【青森県・青森県九条の会】 安倍内閣は、かけつけ警護や宿営地防衛などの新任務を付与した自衛隊の南スーダン派兵を、11月11日にも閣議決定しようとしていることが伝えられています。本格的に海外で武力行使をする自衛隊の海外派兵に踏み切ろうとするこの動きに抗議し、「自衛隊を南スーダンに送るな！いのちを守れ！青森集会」が10月30日、陸上自衛隊第9師団第5普通科連隊のある青森市で開かれ1250人が参加しました。主催したのは戦争法廃止を求める青森県民ネットワークと戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会。

主催者を代表してあいさつした青森県九条の会共同代表の神田健策氏は、11月20日から青森を中心に東北各地の駐屯隊から自衛隊員を南スーダンに派兵しようとしていることに強く抗議。「市民と野党がしっかり共闘すれば戦争発動を阻止する力になる」と訴えました。

集会では、民進党の升田世喜男衆院議員、共産党の高橋千鶴子衆院議員、社民党の上武志県連代表、参院選青森選挙区で野党

### 九条の会第6回全国交流集会

の成果をこれからの運動に

#### =< 報告集 >=

##### ◇主な内容

- ・呼びかけ人あいさつ(澤地久枝)
- ・問題提起(小森陽一)
- ・世話人あいさつ・メッセージ(池内了、池田香代子、伊藤千尋、伊藤真、清水雅彦、山内敏弘、浅倉むつ子、高良鉄美)

- ・分散会の報告(第1～第7分散会)
- ・資料 自民党改憲案、アンケートから見た九条の会の現状と課題、他

◇B5判 76頁 1冊 800円(〒82)

但し、5部以上〒無料

10部以上1割引

#### =< DVD >=

##### ◇主な内容

呼びかけ人あいさつ／事務局長報告  
／世話人あいさつ・紹介

◇取り扱い 1本 1500円(〒160)

統一候補として当選した田名部匡代参院議員があいさつしました。

## 南スーダン派兵反対、各地で行動

【愛媛県砥部町・憲法9条を守る砥部町民の会】 砥部（とべ）町民の会は10月22日、砥部町のAコープ城南店前で超党派の街頭宣伝を行いました。8人が買い物客らに「戦争法の発動を阻止し、廃止に追い込もう」と呼びかけました。自転車の高校生が大きく手を振って声援を送るなどの反響がありました。

佐々木隆雄氏、稲荷哲夫氏、伊藤哲彦氏、二宮治夫氏の町議ら4氏がリレートーク。そのなかで4氏は南スーダンでの「駆け付け警護」の危険性を指摘。

「戦争法は一刻も放置できない。戦争法に反対するたたかいはこの1年で、安保安法廃止、立憲主義回復、安倍政権打倒という戦後政治史上かつてない野党と市民の共同に大きく発展している。この共同のたたかいをさらに広げよう」よびかけました。

### 東北駐屯地の自衛隊員が派兵対象

【宮城県仙台市】 自衛隊の南スーダン派兵に反対し、戦争法廃止を求める街頭宣伝が、仙台市の中央通商店街で取りられました。九条の会や平和団体、労働組合などさまざまな市民団体が参加し、横断幕や旗、南スーダンPKOの写真などを掲げながら、ビラを配り、署名を訴えました。

参加者が交代でマイクを握り、南スーダンは危険な内戦状態で、安倍政権は、自衛隊に危険な「駆け付け警護」をさせようとしていると強調し、「任務を与えられるのは、震災で救援活動をした東北方面隊です。自衛隊員が『殺し、殺される』ことになりま

す。何としてもやめさせましょう」と訴えると、家族連れやサラリーマン、高齢者などが署名していました。

署名した宮城野区の60代の女性は、「自衛隊の人が殺されるかもしれないし、死ななくてもメンタルダウンしてしまう。憲法9条は、まだ変えられていないのだから、守らせて、派兵を止めさせないと」と話していました。

宣伝には、民進党のゆさみゆき県議、共産党の福島かずえ県議らが参加しました。

## 「19行動」も共同しにぎやかに

### 【広島県・県9条の会ネットワーク等】

「戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」が呼びかけた戦争法廃止の「いちきゅう行動」が19日、広島市中区本通り商店街入り口で取り囲まれました。「ストップ！戦争法ヒロシマ実行委員会」を構成する「県9条の会ネットワーク」と「秘密法廃止！広島ネットワーク」が呼びかけたもの。

36人が参加。「ヒロシマ実行委員会」の難波健治事務局長、「戦争をさせないヒロシマ1000人委員会」の金子哲夫共同代表、「憲法違反の安保安法と闘う弁護士の会・広島」でつくる安保安法違憲訴訟広島弁護団共同代表の山田延廣弁護士が「戦争法を廃止させよう」と訴えました。

## 9条守れとランチタイム・デモ

【和歌山県・憲法9条を守る和歌山弁護士の会】 憲法9条を守る和歌山弁護士の会は10月17日、「憲法の破壊を許さないランチTIMEデモ」を和歌山市で実施し80

人が参加しました。

和歌山市役所前の出発集会で藤井幹雄弁護士は、新潟県知事選挙で市民と共産、自由、社民、新社会、緑の5党が擁立した米山隆一氏が自民・公明候補を破り当選したことを「市民の力が一つになれば巨象を倒すことができる」と報告。日弁連の「憲法の恒久平和主義を堅持し、立憲主義・民主主義を回復するための宣言」を紹介し、憲法9条を守れの声を広げようと訴えました。

参加者らは「憲法壊すな」「9条守れ」など訴え市内を行進しました。

## 今後の運動に向けシンポ

**【埼玉県・「安保関連法」の廃止を求める東埼玉連絡会】** 東埼玉連絡会は23日、埼玉県久喜市で、戦争法の具体化や憲法改悪を阻止する運動をどう進めるか考えようと、「どうなる日本、どうする私たち、世代を超えて」と題してシンポジウムを開き、約200人が参加しました。

本田宏さん（NPO法人医療制度研究会副理事長）の司会で、各分野・世代の4人が発言。「安保関連法に反対するママの会@埼玉」の中野昌子さんは、奨学金や年金など身近な問題を話して、政治に関心を持ってもらえるよう工夫していると語り増した。

「戦争法はダメ！杉戸平和アクション」の石井信久さんは、街頭宣伝でも、中国、北朝鮮問題など市民の関心とかみ合った訴えが必要と述べました。

若手の豊職人で埼玉土建一般労組役員の戸田武治さんは、組合の平和学習の経験を語り「若者は“きっかけ”が少ない。単純なきっかけでも学習に参加すれば『誰かに

伝えたくなった』と思うようになる。おかしいものはおかしいと語れる場所や仲間が運動の発展に必要」と強調しました。

「九条の会・久喜」の船橋延嘉さんは会の活動を紹介し、「憲法カフェ」など多様な活動に取り組む意気込みを話しました。

シンポジウムに先立ち、聖学院大学の石川裕一郎教授が「自民党改憲草案」について講演しました。

## 戦争法全面発動が改憲のねらい

**【神戸市・長田区9条の会・須磨区9条の会】** 神戸市の長田区と須磨区の9条の会は10月22日、「危ない！安倍壊憲の戦争への道一憲法をめぐる情勢について」と題した集会を長田区内で開き200人余が参加しました。集会では東京大学教授で九条の会事務局長の小森陽一氏が講演しました。

小森氏は、戦争法完全実施を狙い、改憲へ自民党総裁任期延長を図るなど第3次安倍内閣の危険性をのべる一方、参院選で成果を挙げた野党共闘の力が新潟知事選にみられるようにいま政治を動かしていると強調。総がかり行動実行委員会発足の歴史的意義と、シールズやママの会などの発展をエピソードを交えて話し、「2015年安保闘争」を広げたこれらの市民の運動が野党共闘を生み出したことを生々しく語りました。

衆院選へ向け9条を変えさせない世論を大きくして、全小選挙区で野党統一候補を擁立する運動を呼びかけ、「これができれば状況を逆転できる。草の根から全力で頑張りましょう」と訴えました。

## 歴史逆行の自民党改憲案を批判

### 【神奈川県海老名市・えびな九条の会】

えびな・九条の会は10月30日、「秋の講演会」を開催、約50人が参加しました。

集会では第1部でDVD「どうするあんぼ～日米同盟とわたしたちの未来」を上映。

第2部では九条の会事務局の川村俊夫氏が「参院選後の憲法をめぐる情勢とこれからのたたかい」と題して講演。自民党改憲案の歴史逆行性を強く批判するとともに、草の根の世論を変える九条の会の活動を強めようとよびかけました。

### 文化交流とともに憲法を学ぶ

【名古屋市昭和区・平和のつどい実行委員会】 「♪バクダンじゃなくて ご飯がいい」一明るい歌声に電動車いすの森美親さん(54)も「わかりやすくていい」とにこにこ。10回目となる昭和区平和のつどいが10月16日、名古屋市昭区内に400人を集めて行われました。主催は区内の12団体で構成する同実行委員会。

前半の文化交流では歌やフラダンス、三線とピアノで沖縄メドレー、合唱など多彩に平和の思いを交流しました。合唱はつどいのために集まった「平和のつどい合唱団」が担い、沖縄戦を追悼する「月桃」を参加者全員で合唱しました。

改憲の動きがあるなかだからこそ、憲法を学ぼうと呼びかける伊藤真弁護士(九条の会世話人)がスライドを使い記念講演しました。伊藤氏は、戦前の反省から国家・天皇のためでなく、個人の尊重を基礎とした憲法が誕生したと解説。ヒトラーが独裁体制を敷き、戦争に走ったやり方と安倍首相や自民党改憲草案が似ていることなどを

示し、「おかしいと思った人が声をあげよう」と訴えました。

職場の人が出演するので参加した鈴木菜奈さん(34・保育士)は「ニュースで『安全のため』といわれてもそのまま乗っかってはいけないとわかった。憲法を友人がわかる言葉で伝えたい」と話し、書籍コーナーで憲法関連の本を求めています。

つどいは平和憲法法を守り伝えるアピールを採択しました。

### 過去のことをわかりやすく子らに

【奈良市・安保法制の廃止を求める安堵の会】 「安堵(あんど)の会」は23日、安堵町内にある紫霊山極楽寺の田中全義住職を招き「広島大仏さまが繋(つな)いだ奇跡一平和と仏教思想」と題して同町内で講演会をおこない41人が参加しました。

同会の加藤克夫共同代表が「自衛隊が海外で武器を使用する可能性が高まるなか、改めて、平和とはなんだろう、どうしたら守れるのか、勉強する機会になれば」とあいさつしました。

田中住職は、2011年、同寺に安置されていた約4メートルの仏像が、原爆犠牲者の慰霊のために戦後すぐ、原爆ドームの近くのお寺に安置されていた「広島大仏」であると判明した経緯などを説明し「大仏さまが繋いだ縁を大切にしたい」と話しました。

田中住職は、「大仏さんを通じて広がったご縁」を大切に毎年8月6日に平和祈念式典を開催していることなどを話し、「過去にあったことを、未来の子どもたちにわかりやすく伝えていくことが、お寺の役割だと思っています」と語りました。